身近な人や施設と進んで関わることを通して、気づいたり考えたりしたことを表現し、確かめ合いながら、気付きの質を高める授業の工夫

日立市立坂本小学校

Ⅰ　はじめに

本校では「心豊かに健やかでたくましく行動できる児童の育成」を教育目標として指導にあたっている。児童は、明るく素直である。しかし、言われたことはできるが、自分から考えて進んで取り組むことを苦手としている。

生活科においても、活動の内容がはっきりしているときは進んで取り組めるが、自分から工夫して活動することはあまりできていない。特に、入学してすぐの１年生にとって、学校は新しい生活の場である。すぐに慣れて伸び伸びと活動する児童もいるが、多くの児童はなかなか自分の思いを表現できないものである。学級の友達に対してはすぐにうち解ける子ども達も、上級生や教師に対しては、どう接していいか戸惑う児童が多く見られる。また、児童はそれぞれ個性や経験の違いが大きい。担任が同じような働きかけをしても、意欲的にすぐに活動できる児童もいれば、意欲はあるがどうすればいいか分からないで戸惑う児童や、興味や関心があまりを持てずになかなか活動に取り組めない児童と様々である。

これらの点から、児童の身近な学級の友達との関わりから始まって、上級生や教職員とのかかわりを深める場を段階をおって計画的に設けることや、繰り返し確かめながら活動することを通して、児童が自ら生活科の授業に取り組み、生き生きと活動できるであろうと考えた。

Ⅱ実践例

１　単　元　　がっこうたんけんをしよう

２　目　標

○　友達や先生、学校の施設と進んで関わる中で、それらに愛着を持ち、楽しんで学校生活を送ろうとする。（生活への関心・意欲・態度）

○　探検をして楽しかったことや見つけたことなどを、自分なりに絵や言葉で表現することができる。（活動や体験についての思考・表現）

○　学校には､いろいろな施設があることや自分を支えてくれる友達や先生がいることがわかり、学校生活の楽しさに気付くことができる。（身近な環境や自分についての気付き）

３　単元について

（１）児童の実態（１年１組　３５人）

本単元における事前調査をしたところ次の通りだった。　（数字は人数）

| | |
|---|---|
| ・学校が楽しい。 | ３２ |
| ・何をしているときが楽しいか。 | 複数回答 |
| 外遊び | ２６ |
| 友達との話し合い | １５ |
| 学習 | ２４ |
| その他 | ８ |

| | |
|---|---|
| ・学校のことを誰に知らせたいか。 | |
| 友達 | １３ |
| 家族 | １６ |
| 上級生 | ６ |
| ・みんなの前で発表できる。 | １９ |
| ・先生の名前を複数言える。 | １３ |

児童は、入学後の不安も取り除かれ、友達との遊びや学校生活にも慣れてきて、のびのびと生活している。これまでに、児童は２年生との仲良し集会や、１年生を迎える会などで、他の学年の児童と関わりをもってきている。また、休み時間に運動場で遊んだりしている中で、学校にはいろいろな友達がいて、いろいろな施設があることに気付いている。しかし、特別室の中の様子や学年の先生以外の先生については、あまり知らない児童がほとんどである。

（２）指導に当たって

本単元では、学校の施設を利用したり、友達や先生などと関わりを深めたりしながら、学校での生活を豊かに広げていくことができることをねらいとしている。

ここでは、小グループで探検することにより、友達を増やしたり、身近な施設などに関心を持って主体的に関わりを持てるようにした。また、学校には、みんなが楽しく学習するためにいろいろな施設があり、たくさんの人が働いていることに目を向け、自分たちの生活空間を広げるとともに、学校の施設や人を大切にする豊かな心や態度を育成したい。

本校課題研との関連では、自分たちの力で学校内を探検し、そこにある施設や遊具、生き物や働いている先生たちと自ら関わることが、「確かな力」をはぐくむことにつながっていくと考える。そこで、児童が学校の施設や学校を支えている人、友達などに関心を持ち、楽しんで探検できるように支援していきたい。さらに、学校探検で体験したことや、発見したことを自分なりの方法で表現することで、楽しかった探検の思い出を大切にできるようにしたい。

４　指導計画（１１時間取り扱い）

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 観点 | 評価の規準（評価の方法） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | ・学校探検の計画を立てる。<br>・グループを作り、探検の仕方を話し合う。 | 関<br><br>気 | ・学校探検について関心を持っている。（発言・つぶやき）<br>・探検の仕方を考えることができる。（発表・活動） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2 | 5 | ・地図を見ながら、学校探検をして、部屋の名前を知る。<br>・もう一度行きたい部屋を決め、探検して見つけたことをカードにかく。<br>・もっと調べたい部屋に行き、働いている人に話を聞いたり部屋の様子を観察したりする。 | 関<br>気<br>思 | ・きまりをを守って、探検することができる。　（観察・つぶやき・カード）<br>・学校の施設や働いている人に関心を持って探検することができる。<br>（活動・つぶやき・カード）<br>・学校の施設や働いている人に自分から進んで関わり、分かったことをカードにまとめることができる。<br>（活動・カード） |
| 3 | 4<br>(本時)<br>2／4 | ・探検で見つけたことをまとめ、発表の仕方を考える。<br>・自分が考えた方法で発表をするための準備をする<br>・学校探検発表会をする。 | 関<br>気<br>思 | ・学校探検で見つけた物や人について、絵やクイズ、言葉などで発表の準備をすることができる。<br>（活動・つぶやき・作品）<br>・学校探検の楽しさが分かるように発表することができる。（発表・つぶやき） |

5本時の指導

（1）目　標

○　学校探検で体験したことや発見したことを、自分なりの方法で表し、発表の準備をすることができる。

（2）準備・資料

・見つけたよカード・画用紙・作業用紙・はさみ・のり・色鉛筆・絵地図・写真・セロテープ
・紙芝居やペープサートの見本・わりばし・クイズの見本

（3）展　開　　○個に応じた手立て（評）評価方法

| 児　童　の　活　動 | 教　師　の　働　き　か　け |
|---|---|
| 1　本時の学習課題を確認する。<br>がっこうたんけんでみつけたひみつをみんなにおしえてあげよう。 | ・学校探検で見つけたことや、楽しかったことなどを地図や写真、カードを見ながら思い出し、もっと他にも楽しかったことや見つけたことがないか考えることによって学校の施設や働いている人などに関心が向けられるようにする。<br>・学校の秘密を友達や家族に発表することを知らせ、活動の意欲を高める。 |
| 2　学校探検でしたことや、見つけたものなどを絵にかいたり、作ってみせたりする。<br> <br>理科室でがいこつを見つけたよ。絵にかけるかな。<br>職員室で○○先生と話したよ。<br> <br> <br>保健室にはシャワーがあったよ。何に使うか教えてあげるね。 | ○どんな方法で紹介すれば、楽しかった学校探検の様子が他の児童に伝えられるか考えながら活動できるように助言する。<br>・発表の方法には、クイズや紙芝居、ペープサートなどがあることを紹介し、見本を用意して多様な活動ができるようにする。<br>・材料や用具を用意し、自由に使えるようにしておく。<br>・ひとりひとりの活動の様子を見て、工夫している点を認めたり、励ましたり助言したりして、その場に応じて支援する。<br>○なかなか活動に取りかかれないときには「何があったの」「誰先生がいたのかな」など言葉かけをして、活動へ取りかかれるようにする。<br>・一緒に探検した友達と相談しながら活動できるように場の設定を工夫する。<br>・児童のつぶやきや気付きの良さなど、その都度共感的に称賛し、励ましていくようにする。<br>・絵地図を提示し、どこにあったか思い出しな |

| | |
|---|---|
| パントリーで働いている人がいたよ。仕事をまねしてみよう。 | がら作業するように助言する。<br><br>（評）気付いたことや体験したこと、みんなに知らせたいことを自分なりの方法で表現することができたか。（作品・観察）<br><br>・自分のやることが終わった児童には、発表の練習をするように助言する。 |
| 3　今日の活動を振り返り、よくできたところやがんばったところを発表する。<br>・楽器の絵がうまくかけた。<br>・保健室クイズがよくできた。<br><br>4　次時の学習を確かめ､後かたづけをする。 | ・がんばったことやわかったことの発表を認め、児童の工夫や意欲を称賛することで、次時の活動への意欲付けとしたい。<br><br>・次時も作品作りの続きをし、発表の準備をすることを確認し、ていねいにかたづけをするよう支援する。 |

6　指導の実際

（1）グループ作り（クラスの友達との関わり）

探検をするために、グループ作りを行った。生活グループでの活動も考えたが、「名刺交換」の学習でできた友達と一緒に探検したいという児童の希望から、自分たちで考えたグループとした。その後、学習計画表に従い、「あいさつの仕方」「歩き方」「約束」などを話し合い、学校探検に出発した。

（2）３回の学校探検（学校で働く人々や上級生との関わり）

今回の探検は、グループごとに学校探検を３回実施した。

（１回目）　２時間取り扱い

全員が学校全体の絵地図を持ってグループごとに探検に出かけた。見つけた部屋の入り口にあるシールを貼り、部屋の中で見つけた物を見つけたよカードに書く活動を行った。児童は、グループの友達と協力していろいろな部屋を見つけていた。単にシールを貼るだけの活動にならないように、１階ごとに時間を決めてじっくり探検することにした。家庭科室では、５年生が調理実習を行っていた。５年生から果物などをもらった児童はとても喜んでいた。また、理科室を探検したグループは「理科室のおじさん」に会い、実験装置などに触らせてもらったり話を聞いたりできた。どのグループも練習どおりあいさつをして部屋に入り、見つけた物をカードに記入していた。途中ではぐれることなく協力して探検できた。

〔絵地図〕

（２回目）　１時間取り扱い

グループで１つの部屋を決め、じっくり観察して、中の様子を調べる活動を行った。このときは、担任が意図的にいつもは誰もいない部屋から選ばせるようにした。ランチルームや放送室、和室など、自分たちの教室との違いに気付き、カードにまとめる姿が見られた。時間を決めて探検したが、１時間で１つの部屋を探検したので、落ち着いてたくさんのことを見つけることができた。

（３回目）　１時間取り扱い

この時間は常時､先生や働く人がいる部屋の中から選んで､ゆっくり時間をかけて探検した。このときは、インタビューカードを持参し、先生たちから、仕事や部屋の様子について自分たちで質問し、カードにまとめていた。校長室やゴミステーション、パントリーなど普段なかなか入れない部屋や、いつも前を通っているが何をするのか分からない部屋など興味深く調べていた。探検する部屋の先生には、あらかじめ担任が質問内容を知らせておいたが、自分たちで考えた質問をするグループもあった。学校で働く人について知り、交流することができた。

〔インタビューカード〕

（３）学校探検のまとめ（クラスの友達との関わり）

探検カードをそのまま読んで発表する方法も考えられたが、今回は、６月の授業参観で家の人に学校の様子を知らせることにした。発表の仕方として、「絵」「紙芝居」「クイズ」「ペープサート」などの中から自分でやりたい物をえらんで発表することにした。

発表の準備は、グループで行った。初めての活動なので、とまどいが見られたが、やり方が分かるといくつかの方法で発表しようと準備する児童が多かった。また、部屋の様子などを写真で調べたり、友達と話し合ってクイズを作ったり、発表の練習したりする姿が見られた。

（４）学校探検発表会（家の人との関わり）

授業参観で、準備した物を発表した。発表は１人１回だったが、クイズやペープサートなど自分の作った物を家の人の前でうれしそうに発表することができた。家の人も、興味深そうに見守ってくれた。

（５）学習を振り返って

名刺交換で友達になっていたので、学校探検のグループ作りはスムーズにできた。３５人の学級で、５人ずつ７グループができた。リーダーを決める話し合いも仲良くできた。実際の探検では、リーダーを中心に、あいさつの仕方や、探検する場所、カードへの記入など、仲良く話し合って行っていた。２回目の探検に向かう前に、絵地図やカードをもとにリーダーを中心に探検する部屋を決め、場所を確認していた。

３回目の探検では、はじめは恥ずかしそうにしていた児童も、対応してくれた教職員の温かい言葉で、安心してインタビューすることができた。ここでの交流から、この後の学校生活で、いろいろな先生方と進んで関わろうとする姿が見られた。

発表会に向けての準備では、はじめはなかなか活動に取りかかれなかったり、教師の意図した活動と違う活動をしたりする児童も見られた。その後、グループや一人一人への働きかけで、授業参観では全員が調べた部屋について自分なりの方法で発表することができた。声の大きさや態度など、個々に学習していくことの大切さも知らされた。

Ⅲ　おわりに

同じような活動を繰り返し行うことで知的な気付きが深められ、次の活動に進むときに安心して取り組めるようになった。また、１回目と２回目の間に教師の助言や友達のアドバイスなどにより、１回目では気付かなかったことでも２回目には気付くことがあった。

さらに、身近な人々との関わりを深める活動を繰り返すことにより、学校生活のいろいろな場面で、進んで関わりを持とうとする児童が増えた。友達や上級生、教職員などと楽しく関わりながら生活できるようになった。

何度も繰り返し活動することで児童は自信を持って取り組めるようになったが、表現活動にはまだまだ個人差が見られた。活動で気付いたことを表現する方法を多様化することに目がいき、一人一人の活動を十分に汲み上げることができなかった。気付きを広めるための表現の方法についてさらに研究を重ねていきたい。